

水泳 新型コロナウイルス感染症対策

○出場に際しての提出書類

- ・出場者は令和4年度茨城県障害者スポーツ大会指定の様式「体調チェックシート」を当日必ず提出すること提出しない競技者は出場を認めない。なお、チェックリストの中に、一つでもチェック項目があった場合、また記入漏れや検温忘れがあった場合も出場を認めないものとする。
- ・競技会終了後、2週間以内に感染および感染が疑われる症状が発生した場合は、最寄りの保健所に報告・相談後、速やかに事務局まで連絡をすること。
- ・「体調チェックシート」は、令和4年度茨城県障害者スポーツ大会 ([茨城県障害者スポーツ大会について／茨城県 \(pref.ibaraki.jp\)](http://pref.ibaraki.jp)) からダウンロードすること。

○以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる

- ・体調がよくない場合。(例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合。

○感染予防策

- ・競技者並びに、関係者の健康面を配慮し、原則として無観客とする（大会関係者・介助者・引率者等は除く）
- ・会場内では、人との距離（できるだけ2m以上）をとって行動すること。(介助者等は除く)
- ・更衣室での滞在時間を必要最小限にするため、更衣室は、着替えのみに使用し、着替えが終わったら速やかに退出すること。
- ・更衣室のドライヤー使用はしないこと。
- ・各参加団体の引率者は、選手に控え場所・観覧席・更衣室の利用方法を周知し、徹底するよう促すこと。
- ・泳ぐとき以外は原則的にマスクを着用すること。(更衣室・招集所・選手控え場所・観覧席・プールサイド・トイレなど)
- ・各自、服等を入れる袋を持参すること。(レース時、衣服・マスクは直接、脱衣ボックスに入れないようにし、持参した袋に衣類やマスクを入れ、脱衣ボックスに入れるようにする)
- ・熱中症に留意し、マスクをとる場合は、周りの人との距離を十分に保つこと。
- ・こまめな手洗いをするとともに、手指消毒を徹底すること。
- ・選手は、招集所での選手間の会話、レース後の選手間の会話は控えること。
- ・大きな声での会話や応援をしないこと。
- ・唾や痰を吐くことは極力行わないこと。
- ・選手は、自分のレース終了後速やかに退館すること。
- ・ミーティング等は控えること。

※この感染症対策については、日本水泳連盟のマニュアルに基づき作成しています

※今後も、新型コロナウイルス感染症の動向を予見することは困難な状況です。

上記の対応は、現時点のものとなっておりますので、今後の状況に応じて変更等があり得ることにご留意をお願いいたします。